

令和 8 年 7 月 31 日
独立行政法人国立病院機構

「令和 8 年熊本地震」における 国立病院機構の支援活動について（第 1 報）

令和 8 年 7 月 28 日（火）に発生した「令和 8 年熊本地震」における国立病院機構の支援活動について、令和 8 年 7 月 31 日（金）16：00 時点の状況は以下のとおりです。

国立病院機構は、引き続き支援活動に取り組んでまいります。

1. 国立病院機構（NHO）の主な動き

- 7月28日 災害対策本部を設置（国立病院機構本部〔東京都目黒区〕）
NHO病院がDMATに参加開始
- 7月29日 現地災害対策本部を設置（国立病院機構熊本医療センター〔熊本県熊本市〕）
- 7月30日 初動医療班が活動開始
- 8月1日 医療班が活動開始予定

2. 初動医療班の派遣状況

初動医療班 2 チームを編成し、熊本県内の医療機関での医療支援等を実施しています。（7 月 30 日から活動を開始しております。）

活動場所	派遣病院
県央南活動拠点	長崎医療センター 福岡東医療センター

3. 医療班の派遣状況

医療班 2 チームを編成し、熊本県内の医療機関、避難所等での医療支援等を予定しています。（8 月 1 日から順次活動を開始予定です。）

活動場所	派遣病院
県南活動拠点	九州がんセンター 福岡病院

4. DMAT（※）におけるNHQの活動状況

活動場所	派遣病院
熊本県庁	大阪医療センター
済生会熊本病院	長崎医療センター（2チーム）
宇城総合病院	九州医療センター 呉医療センター
熊本県八代保健所	四国こどもとおとなの医療センター
熊本県宇城保健所	別府医療センター
熊本労災病院	南和歌山医療センター
八代北部地域医療センター	大分医療センター

（※）DMAT：大地震及び航空機・列車事故等の災害時に被災者の生命を守るため、被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療チーム

5. DPAT（※）におけるNHQの活動状況

活動場所	派遣病院
熊本労災病院	さいがた医療センター

（※）DPAT：自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの集団災害の後、被災地域に入り、精神科医療および精神保健活動の支援を行う専門的なチーム

< 参考 >

初動医療班、医療班、DMAT、DPATの基本構成

初動医療班：5名（医師1名、看護師2名、事務職1名、薬剤師等1名）
 医療班：4名（医師1名、看護師2名、事務職1名。
 必要に応じ、薬剤師1名を班の構成員として加える。）

DMAT：4名（医師1名、看護師2名、業務調整員1名）

DPAT：数名（精神科医師、看護師、業務調整員）

【 本件に関する問い合わせ先 】

独立行政法人国立病院機構
 本部 総務部広報文書課 榊原、西山
 電話 03-5712-5062
 メール 700-koho@mail.hosp.go.jp